

第70回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成21年6月21日(日) 13時30分～15時00分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7名  
出席委員の氏名 児玉 昭義 小島 隆雄 中島 和晃 森 禎子  
欠席委員の氏名 久保田 隆治 奥田 友彌 島田 貴司  
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸

4. 議題

1. 番組編成に関して
2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎

出欠席者の確認をして会議に入った。

次に本日の審議事項の発議を提案。

会社側委員：新番組「PACIFIC SHOWER」が6月より放送開始になった。

委 員：鎌倉ベースのトーク番組として楽しい地域の問題に好感が持てる。

委 員：サービスエリアの中心が鎌倉であることに留意した番組作りが望ましい。

会社側委員：JCBAの総会が5月15日、本年度の第一回理事会が6月18日、開催された。衛星による全国中継の開始や総務省のコミュニティ放送に係る規定の整備などが報告された。当局としても「放送普及基本計画の一部改正案等に対する意見募集」に関し意見書を提出、賛意を表明している。

委 員：JCBAの事業や難聴地区解消対策に期待したい。

会社側委員：増力やサテライトの設置などを含めて有効なサービスエリアの確保を視野に努力したい。

委 員：前回にも申し上げたが鎌倉FMとしては、非常時はもとより平時においても機材の整備をはじめ体力をつける必要がある。

会社側委員：総務省の規定整備を機に関係各位の支援をも期待して体力増強を実行したい。

委 員：情報通信月間の鎌倉駅地下道パネル展示は体裁も良く好評であった。

会社側委員：情報通信月間のイベントとしてメインテーマは鎌倉駅地下道のパネル展示に、現場と期間中に開催されるビーチフェスタの中継放送などであったのだが、スパイラルカップ中止のため中継放送の規模は大幅に縮小された。今後は中継機機の整備を機にイベントなどへの参加を積極的に実施する。

委 員：中継放送などを通して、地域への積極的な貢献を期待する。

会社側委員：パソコンを活用した中継のシステムは実用化試験の段階であるが7月のイベントからは稼働可能になる予定である。

本日はありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日  
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し  
以 上